

# 千代田中学校だより 自ら一歩前へ

平成30年5月30日  
第7号  
校長 山田正彦

一人ひとりが輝き  
笑顔と感動があふれる学校

## ヤングマンに 終わりなし

中間テストが終わりました。1年生にとっては、初めての定期テストとなりましたが、終えた感想はどうだったでしょう。「連続のテストはさすがに辛い!」「いがいと簡単だったな!」「もっと〇〇しておけば良かった」「〇〇をしっかりとやっておいて良かった」など一人ひとりの感想はいろいろだと思います。それは、2・3年生にも同じことが言えます。その感想、つまり経験をこれからの授業や家庭学習につなげていくことを、意識しましょう。「ヤングマン」には、終わりはないのです。一つのことが終われば、次の目標を立て、早速に行動する人こそ、ヤングマンと呼べるのではないのでしょうか。



【初テストに臨む1年】

## 出しきろう そこちからを

中学校卒業後の進路のことを考えると、テストや勉強のことは気にはなりません。そして、部活動も同じように中学生の君たちにとっては大切なものですよね。特に3年生にとっては、近づいてきた郡選手権・芸北地区大会・記録会は、県大会やさらに上の大会につながる大切な大会です。



【グラウンドで】

昨年の秋、卒業した3年生から部長・キャプテンというバトンを受け取り、部活内での最高学年としてこれまで部を引っ張ってきました。その9ヶ

月あまりで、3年生も2年生も心も体も（部活の技能）共に成長してきました。4月からは1年生も加わり、部活動の活動にも、大きく弾みがついたことでしょう。

各部活動のチーム内の状況はどうですか。各チーム共通の目標を掲げ、頑張ってきたその成果をいよいよ発揮する時がきました。練習の成果を100%発揮することは簡単なことではないでしょう。「大会」という特別な雰囲気の間ですから、プレッシャーなども加わります。相手との戦いと同時に、自分自身との戦いも加わってきますね。でも、これまで一緒に汗を流してきた仲間がいます。仲間の声援や同じように頑張っている姿をしっかりと感じ、自分自身のパワーに変えていきましょう。仲間との思いが繋がれば、100%の力が出せます。時には、100%以上の力が出せることだってあります。チーム千代田として戦うことも忘れないください。



【体育館で】

そして、勝負の世界ですから勝ち負けがあります。「勝つこと」を最大の目標とすることはごく当たり前のことで、大切なことです。それと同じように大切なことは、「悔いを残さない」ことです。負けてくやし涙を流しても、「自分が持っている力、チームがもっている力を、思う存分最後の最後まで出しきろうとしたか」も、大切にしてください。くやしさは残っても悔いは残さない大会にしてください。そんな体験が、君たちを次へのスタートラインに立たせます。明日からの自分の生活につながります。



【裏校庭で】

そして、「悔いを残さない」試合をサポートしてくださった、保護者や関係者の皆様には感謝する気持ちも、大切にしましょう。この大会が、参加する生徒全員の成長につながる大会となることを期待しています。燃えろ! 千代田中生。健闘を祈ります。